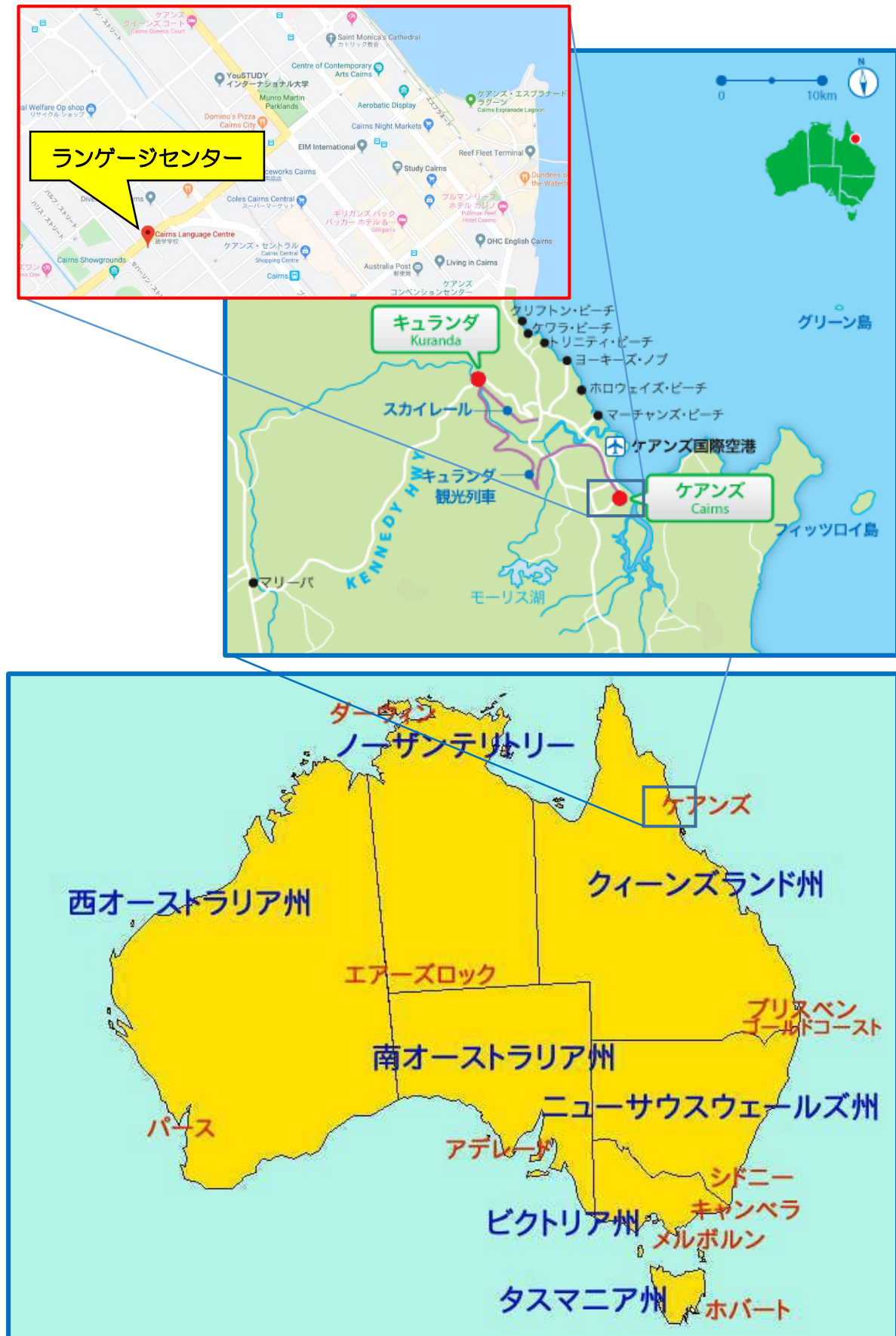


令和元年度 南幌町中学生国際留学プログラム事業 報 告 書



**International Study Abroad Program Report
Aug.7-Aug.16, 2019 Australia**

地図



Contents

International Study Abroad
Program in Australia **2019**

地 図

海外留学行程表 **1**

ホストファミリー **2**

研修生徒報告

山 本 啓 介 **3**

相 原 瑞 香 **5**

桂 百 花 **7**

榊 原 愛 加 **9**

砂 田 杏 珠 **11**

渡 辺 真 歩 **13**

佐々木 柊 也 **15**

引率者レポート

浅 野 茂 **17**

Photo Gallery **19**



南幌町では、外国での語学研修やホームステイ体験を通じて、「子どもたちに国際感覚を身に付けてもらおう」と平成 26 年度から『中学生国際留学プログラム事業』がスタートし本年度が 6 回目となりました。

本年度派遣されたのは、南幌中学校の男子生徒 2 名と女子生徒 5 名の 7 名。出発までに 5 回の事前研修の中で、ホームステイの心得や英語レッスンを受け、初めての海外研修に備えてきました。

オーストラリア短期留学は、8 月 7 日から 8 月 16 日の 10 日間の日程で、クイーンズランド州のケアンズにおいて、現地のランゲージセンターでの語学研修や、ホームステイによる生活体験、世界遺産（グレートバリアリーフ等）の観光など様々な体験をしました。

本書は、令和元年度のオーストラリア・ケアンズにおける派遣生徒たちの短期留学について報告します。



海外留学行程表

日次・月日	地 名	現地時間	交通機関	スケジュール
1日目 8月7日(水)	南幌町ぼろろ 南幌町ぼろろ発 新千歳空港発 羽田空港発 成田空港発	9:00 9:20 12:00 14:25 20:25	バス JL508 便 リムジンバス QF250 便	出発式 出発式終了後・南幌町から新千歳空港へ 国内線にて羽田空港へ 成田空港へ 出国審査・成田空港からケアンズ空港へ
2日目 8月8日(木)	ケアンズ空港着 ケアンズ キュランダ ケアンズ市内 ランゲージセンター	4:10 5:00 9:00 12:00 14:00 15:20	専用バス スカイレー 専用バス ホスト送迎	入国審査 パーム コフ ビーチ、ラグーン散策、熱帯植物園 キュランダ観光 昼食 ケアンズランゲージセンターでオリエンテーションと施設内見学 ホストファミリーと対面→ホストファミリー宅へ
3日目 8月9日(金)	ケアンズ	8:30	ホスト送迎	英語レッスン
4日目 8月10日(土)	ケアンズ	8:00	ホスト送迎 専用バス	ハートリースアドベンチャーズ グリーン島
5日目 8月11日(日)	ケアンズ			ホストファミリーと過ごす休日
6日目 8月12日(月)	ケアンズ	8:30	ホスト送迎	英語レッスン アボリジニアート体験
7日目 8月13日(火)	ケアンズ	8:30	ホスト送迎	英語レッスン ショッピングセンター研修
8日目 8月14日(水)	ケアンズ (ホテルケアンズ)	8:30 11:00 12:00 18:00	ホスト送迎	英語レッスン 修了証書授与 バーベキューランチ、市内ホテルへ さよならディナー
9日目 8月15日(木)	ケアンズ空港発 ブリスベン空港発 成田空港着 ホテル着	5:25 9:35 17:55 19:30	専用バス QF1753 便 QF061 便 シャトルバス	ホテルケアンズより空港へ 出国審査、ケアンズ空港からブリスベン空港へ ブリスベン空港から成田空港へ 入国審査後成田ビューホテルへ
10日目 8月16日(金)	ホテル発 成田空港発 羽田空港発 新千歳空港着 南幌町ぼろろ	9:20 12:30 14:30 16:40	シャトルバス リムジンバス JL515 便 バス	ホテルより成田空港へ 成田空港から羽田空港へ 国内線にて新千歳空港へ 新千歳空港到着後添乗員とお別れ、南幌町へ 解散



ホストファミリー

滞在者	ホストファミリー				
	Father	Mother	Children / age	Pets	
山 本 啓 介	Sean Webb	Tanya Webb	Hayden (Son) /12		
佐々木 柊 也					
相 原 瑞 香	Dave Smith-Parker	Mimielle ALVERO		Birds Dogs	
砂 田 杏 珠		Lina Smith-Parker			
渡 辺 真 歩					
桂 百 花	Daniel OVEREEM	Sylvie OVEREEM	Ashlyn (Daughter) /7 Meisha (Daughter) /2		
榊 原 愛 加					





姉がカナダに行ってからもう五年が経ち、今度はオーストラリアに僕が行く番となりました。留学の期間が二週間から一週間になったり、英検三級が不要となるなど、変更点が多く最初はかなり戸惑いました。

「三年生優先」や「英検三級を持っていることが条件」だったことは、三年間の授業で培ってきた英語

力を発揮する、もしくはもっと前から勉強し取得した英検三級レベルの英語力を発揮するという意味が込められていると思います。せっかく三年に一度しか行けないのですから、どうせなら自分が持っている知識を全て存分に発揮できるであろう三年生の時に行ったほうがいいと僕は考えます。



オーストラリア短期留学を通して感じたこと

南幌中学校

3年B組 山本 啓介



また、（無いとは思いますが）三年に三度行けるといいうように変更はしてほしくないです。なかなか行けない所だからこそ、必死に学ぼうとするものだと思いますので。様々な変更点があったあとの短期留学なので、改善点は多々あると思います。少しずつでも改善していっていただけると幸いです。

オーストラリアでの約一週間はいろいろなことがありましたが、とにかく楽しかったです。世界遺産に指定されている熱帯雨林をスカイレールで見ることができたり、グレートバリアリーフで泳ぐことなどができるといのはとても楽しく、貴重な体験ができたと思います。一日目に見た日の出も、絶景でした。飛行機に普段よりも長い時間乗っていたので、疲れはかなりありました。



たが、一日目のすばらしいスケジュールのおかげで疲れを忘れるほど楽しむことができました。海パンを、普通の短パンと間違えて買ってしまいました。なんとか英語を使って返品することができました。なかなかできない体験ができてよかったです。

もちろん、楽しかったのは一日目だけではありません。二日目からは、語学学校での授業が始まりました。ホームステイが始まったりと、だんだん留学らしくなってきました。僕のホームステイ先は、多いときには十人を超えるほどの人が家にいる大家族でした。家は広く、プールもついていて驚きました。オーストラリ





アに行く前の説明会で、「スマホは盗難の恐れが」と言っていました。が、むこうの十二歳の子は普通にスマホやタブレットをいじっていました。来年行く人たちは、スマホを持っていっても問題ないと思います。

僕は、一週間スマホを持っていきませんでした。が特に困ることはありませんでした。写真をとるためや親などと連絡をとるためなどというならわかりますが、オーストラリアに行つてまで動画を見たりするのは理解できません。しかし今年は二人につき一ファミリイなどとなっているので、リビングなどでスマホをいじられると、「何のために来たの？」と少々イラッときます。せつかくオーストラリアに行くのです。

から、一週間ぐらいスマホから離れてみるのもいいと思います。もし持つて行くとしても、時間制限など何かしらの制限を設けたほうが、より海外にいる時間や会話を楽しむことができると思います。

そのこと以外は特に問題なく、ホストマザーやファザーと質問し合ったりホストグランパやグランマなどとジョークを言い合ったり、ホストブラザーとサッカーやゲームをしたりして遊んだり、日本とほぼ変わらない生活を送っていました。

聞きとれなかったときはやさしく言い直してくれた、すぐほめたりしてくれたので、安心して英会話ができました。僕はもともと少食で、きらいな物が多いのですが、むこうの野菜や料理はとてもおいしかったので、ほとんど残さずに食べられました。特に、ホストグランマが作ってくれたパンケーキは絶品でした。

語学学校での授業もとても楽しく、わかりやすかったです。マリアンヌ先生はとてもゆかいで楽しげ



な人だったので、場の空気がとても明るく、僕もみんなも笑顔になれました。

思い出になったのは、これらのことだけではありません。クロコダイルアドベンチャーというところに行つてワニやヘビなどを見たり触ったりしたり、ファミリイとアイスを食べに行ったり、みんなでケアンズ市内をぶらぶらしたり、スーパーマーケットに行ったり、ファミリイで映画を見たりなど、数えきれないほど楽しいことがありました。思い

出せば思い出すほど、またケアンズに行きたくなってきました。フェイスブックを交換した際に、「楽しかった。またうちにおいで。」などと言ってくれました。今すぐオーストラリアに行きたくなるというぐらい、むこうでの生活は最高でした。

なかなかできない体験をさせてくれて南幌町教育委員会やJTBの皆さんや、南幌中の先生方、そして高いお金を払って僕を留学させてくれた親に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。





私はこのプログラムに参加すると決まったとき嬉しさと同時に不安が大きくなりました。参加が決まるまでは行くという実感があまり湧かなかったもので、このことを深く考えていませんでした。自分の話す英語がちゃんと伝わるのだろうかという不安もあったし、初めての海外ということもあったので、ホーム

ステイ先がわかったとき、とても緊張しました。ですが、今回はホームステイするのが一人ではなく三人で同じホームステイ先に行くことになったので、そのことを聞いたときには、少し安心しました。オーストラリアに着いたときはとてもうれしかったです。着いたときは朝早く、まだ暗かったのであ



中学生国際留学プログラム事業 を終えて

南幌中学校

3年B組 相原 瑞香



まり実感がわかなかったけど時間が過ぎてくにつれて、オーストラリアにいるんだと感じるようになりました。着いた初日は、ほとんど観光で最初は朝日を見に行きました。ケアンズのきれいな海で朝日を見たときはとても感度しました。ちゃんと日の出を見ることがなかったので、よりきれいに感じました。朝日を見たあとは、大きな植物園に行きました。知らない植物がたくさんあって、自分よりも何倍もある大きな木があったり、鳥などの動物もいました。ヤブツカツクリという鳥を見ることができ、オーストラリアの鳥を見て良かったなと思いました。

そのあとはスカイレールに乗ってケアンズの景色を見ました。とても高く、落ちるんじゃないかと少し怯えながら乗っていました。でも、そんな怖さがなくなるくらい景色がきれいだったので良かったです。その他にもお買い物をしたり、おいしいご飯を食べたりとても楽しかったです。



でも、一つだけとても緊張したことがあります。それは、ホストファミリーとの初対面です。ホストファミリーのことは先には先にかつていたけど、どんな人なのかはまだわかっていなかったもので、とても緊張していました。そして、初めて対面したときとても優しくそんな人で安心しました。初めて泊まった日はうどんを作ってくれました。日本食が出てくるとは思っていなかったのですが嬉しかったです。

二日目はランゲージセンターという場所で勉強をしました。自分たち以外にも留学しに来た日本人が



たくさんいてびっくりしました。授業は内容をちゃんと聞きとれるか不安だったし、緊張もしていたけど、授業をしてくれたマリアンヌ先生がとても優しく、いつの間にか緊張も解けていったし、先生の話す英語もわかりやすかったので、すぐに慣れました。

三日目は土曜日で、授業もお休みなので、皆と動物園とケアンズで有名なグリーン島に行きました。動物園では二十ドルでコアラを抱っこすることができました。とてもふわふわで意外と重かったです。それにとっても可愛かったもので、とても満足しました。他にもヘビをくびに巻いたり、実際にワニを見てたり、も

ったりすることもできて良かった

です。動物園のあとはグリーン島というとても海がきれいな場所に行きました。初めてシュノーケルをつけて泳いだのでとても新鮮でした。カメも見れたので良かったです。

四日目は、ホストファミリーと一日を過ごす日でした。ホストマザーはケアンズの景色を一望できる場所につれてってくれたり、ショッピングにつれていってもらったりしました。友達とお揃いの服も買えました、初めて海外のジャンクフードを食べることができ、とても嬉しかったです、楽しかったです。

五日目はランゲージセンターでアボリジニアートを作りました。あまり上手に作れなかったけど、思い出として残せるので良かったなと思います。しかし、この日はホームステイ先が変わる日でもありました。二日目くらいから皆のホームステイ先との違いを感じるようになってしまい、嫌になってしまいうこともありました。皆と違うのは当たり前だし、いろんな家、人たちがいることもわかってはいましたが、コミ



ユニケーションミスなどの小さなことの積み重ねが原因で変わるものになりました。でも逆に勉強になりました。二件目のホームステイ先はとても優しい人で安心しました。二日間という短い間でしたが、とても親切にしてくれたので嬉しかったです。

最終日は午前中に授業をしたあと、皆でバーベキューをしました。とてもボリュームミーでおいしかったです。デザートにはフルーツもあったのでたくさん食べました。バーベキューのあとは、ホストファミリーとごはんを一緒に食べる予定です。

したが、生憎自分のホストファミリーが来ることができず、友達のホストファミリーと一緒にごはんを食べました。すぐフレンドリーで面白い人たちだったのでとても楽しかったです。

今回初めての海外で、いろんな体験をしました。ホームステイ先の人とうまくいかなかったり、英語をあまりうまく伝えられず積極的に話しかけられなかったり、いろんなことがありました。でも、今考えてみればどれも貴重な体験だったと思います。ずっと行きたかったこの国際プログラム留学に参加できて本当に嬉しかったし、良かったです。関わった人たちには感謝しかないです。ありがとうございました。





私は十日間という短い間でとても良い経験ができました。
初めての留学でホームステイをすることに少し緊張もしていましたが、この日が来るまで楽しみでいっぱいでした。
長い飛行機に乗り、オーストラリアに着いたときはすぐに外国の空気が感じ取られ、外国に来たことを



実感しました。朝から日の出を見たり、スカイレールに乗ったり自然を見たりお店に行ったりして一日目からオーストラリアをとっても満喫しました。そのあとにホストファミリーと会い、家に連れて行ってもらいました。家がとても広くて、ベランダから見える自然な景色に驚きました。ホストファミリーは四人家

ホームステイを終えて

南幌中学校

3年A組 桂 百花



族で二歳と七歳の子供と二匹の犬もいました。みんな良い人で子供もとても可愛くてご飯も美味しくて私にとって本当に完璧すぎるホストファミリーでした。

二日目からは学校へ行き、私たちを担当してくれたのはマリアンナ先生でした。とても優しく、わかりやすく楽しい授業でした。そして初めてランチボックスを体験できました。サンドイッチにたくさんのフルーツとジュース。「日本のお弁当にもこれくらいフルーツがあったらなあ」と思いました。

三日目の休日はみんなで動物園とグリーン島に行きました。日本の



動物園とは全く違って見て見たことのない動物ばかりでした。小さいワニを持ちたりヘビを首に巻いたり念願だったコアラを抱っこして写真とったりできてもう大満足です。そのあとは船に乗ってグリーン島に向かいました。気持ちいい風に当たりながらきれいな海と島を見れる船は最高でした。日本ではなかなかできないビーチでのシュノーケリング。気温もあたたかくて魚も見れてとても楽しかったです。帰るときに奇跡的にウミガメがビーチ





から出て来てビックリしました。
学校まで帰るとホストシスターのアシュソンが走って迎えに来てくれたのがとても嬉しかったです。家にはホストファミリーのお父さんとお母さんも来ていて、賑やかで楽しいディナーでした。

四日目のホストファミリーと過ごす休日はビーチとショッピングに連れて行ってもらいました。どのビーチもいつ見てもきれいでフレンドリーな人たちがばかりでいい

国だなと思うことばかりです。そしてショッピングモールはどこに行っても広くて迷子になりそうでした。夜はディナーにも連れて行ってもらい、とても楽しい一日になりました。英語に慣れてくると、英語を使うのが楽しくなってきたのでホームステイ先が同じ友達と簡単な英語を並べて話してみたりするようになりました。

五日目、六日も学校へ行き、午後からはオーストラリアならではのブーメラン作り、ショッピングモールでの授業などの活動がありました。授業のあとの自由時間でショッピングができて楽しかったです。そしてこの日は、家で過ごすのが最後の日でご飯が豪華でした。とっても美味しく全部頂きました。二人の子供とも何度も何度もゲームをして楽しかったです。でも時間が過ぎるたびに悲しくなりました。

そして七日目の最後の授業。最後までいろんなことを教えてもらって本当に良い経験ができました。最初はあまりわからなくて聞き取る



ことで精一杯だったけど少しずつわかるようになってきて嬉しかったです。学校で食べたバーベキューはとても美味しかったです。学校を終え、最後のオーストラリアの街並みを目に焼き付け、しつかりショッピングをしました。夜のさよならパーティーでは、アシュソンと隣に座り、一緒に過ごせる最後の時間を楽しめました。最後にホストファミリーとハグをしたときに思わず涙があふれました。もう会えないと思うとすごく悲しかったです。

私は、今回のオーストラリア留学プログラムでたくさん学び、とても

良い思い出ができました。私はまだ英語が十分にできていなくて、話しかけてくれているのに単語がわからず答えられないということが何度かあり、悔しかったです。なので、今回の経験を活かしてもっと勉強し、また留学にチャレンジしたいと思います。

オーストラリアで過ごした一週間は本当に楽しくて夢のような時間でした。戻りたいです。とても良くてくれたホストファミリーとこのプログラムを支えてくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。一生忘れられない素敵な思い出をありがとうございました。





オーストラリアに着いて息を吸うと、海外のにおいと、周りを見ると、ヤシの木がたくさんありました。そこで、「海外に来た三」ととても実感しました。その後、バスでビーチに移動して日の出を見ました。初めて見た日の出だったので、とてもきれいだっただけを鮮明に覚えていいます。次にキュランダに行きました。

お土産などを買えて楽しかったです。その次には、スカイレールに乗りました。上からの景色は絶景でした。青いようなのを見れてそれもまた楽しかったです。そして植物園に行つて食虫植物など見ました。すごかったです。夕方はホストファミリーが迎えに来てくれました。あまり緊張しないで会うことができました。



オーストラリアに行つて

南幌中学校

3年A組 榊原 愛加



した。ホストファミリーの子どもともすぐ仲良くなれてうれしかったです。夕食はとても美味しくてびっくりしました。一日目は疲れていたのも、すぐ寝ることができました。三日目の朝は六時に起きました。とても眠かったです。朝食を食べ終えたら子どもが、UNOをしようと誘ってくれたので遊びました。ゲームでコミュニケーションがとりやすくて楽しくできました。それが終わるとすぐに学校に向かいました。学校でどんな事をするのかや、先生はどんな人なのか、など考えると緊張と楽しさが混ざっていました。学校に着くと、他の生徒がたくさんいて楽しそうな雰囲気でした。私達の先生は優しい女性の方だったので安心しました。最初の授業だったので

緊張もしましたが、みんなと協力しながら取り組みました。四日目はオーストラリアでの初めての休日でした。まず最初に動物園に行きました。初めにヘビを首に巻くことと、小さなワニを持つことを挑戦してみました。恐かったけれど一生に一度しかできないと思い、チャレンジしてみると意外と柔らかくて大丈夫でした。そして、一番楽しみにしていたコアラの抱っこです。とても貴重な体験だと思いつてみました。とてもモフモフしていて可愛かったです。次にグリーン





島に行きました。行ってみたいと思
っていた所だったのでうれしかっ
たです。島に着くと、きれいな海と
景色が広がっていて感動しました。
島ではシュノーケリングをしまし
た。と言っても、私は魚を見ること
はできませんでした。でも、泳いだ
だけでも満足することができまし
た。もう一度行ってみたいです。

五日目はホストファミリーと過
ごす休日でした。オーストラリアに
行く前から楽しみにしていた日で
す。ホストファミリーはビーチに連
れていってくれました。最初に行っ
たビーチではお昼まで遊んでいま

した。砂遊びや走ったりして、砂遊
びでは小さなお城を作りました。そ
こで子どもともっと仲良くなれた
気がして、とっても楽しかったです。
次に行ったビーチは二日目に行っ
た所と同じでした。お昼ぐらいたっ
たので前よりも人がたくさんいま
した。ここでは子どもと写真をとっ
たり、景色を見て楽しんでいました。

家に帰ったらショッピングセンタ
ーに連れていってもらいました。お
店が大きくてびっくりしました。夕
食は外食に連れていってもらいま
した。とても充実した一日でした。

六日目の学校でアボリジニの歴
史について学びました。アボリジニ
は点で絵を描くことが特徴です。と
ても細かくて見れば見るほどおも
しろかったです。自分でデザインし
てブーメランを作る授業は楽しく
取り組むことができました。学校の
後にホストファミリーがナイトマ
ーケットに連れていってくれまし
た。そこにはたくさんのお店があっ
ておもしろかったです。フードコー
トにはお寿司屋さんもありました。



七日目の学校では午前中はオー
ストラリアの地図と家の中につい

て勉強しました。地図の授業ではオ
ーストラリアのいろいろな都市を
たくさん知れたし、家の中につい
ての授業では、日本にない部屋など
あって単語の知識が少し増えた
と思います。午後からはショッピング
モールでの授業でした。先生がわか
りやすくモールの案内してくれて、
より楽しむことができました。大き
いスーパーマーケットや服屋さん、
お茶のお店などたくさんのお店が

あつて楽しかったです。

オーストラリアは、人がとにかく
フレンドリーで自然が多く暮らし
やすそうという印象を国際プログ
ラムを通じて感じました。朝など、
人とすれちがうたびに「ハロー」と
いう言葉がきこえてきたり、動物や
植物などの美しさがとても魅力的
でした。この国際プログラムをきつ
かけにもっと英語を頑張ろうと思
えたし、海外にもっと興味がわい
てきました。授業に生かせるようにも
英語の練習をこれから頑張ります。
十日間という貴重な体験があり
がとうございました。





私は、この研修でオーストラリアの文化を体験することができました。初めて知ったこと、体験したことがたくさんありました。ホストファミリーと生活したことでコミュニケーション不足を感じましたが、この研修での経験が将来役に立つと思っています。

出発の日、海外に行く楽しみと不



研修を振り返って

南幌中学校

3年A組 砂田 杏珠



安が入り混じっていました。オーストラリアに向かう飛行機では明日に備えて寝ましたが、八時間乗っていたので疲れました。

オーストラリアについての瞬間ウキウキ気分になりました。自分がオーストラリアにいるんだと思うと変な感じがしましたが、これからの研修が楽しかったです。着いたのが朝

四時三十分と早かったので朝日を見に行きました。すごくきれいでした。さつそくすれ違った人とあいさつをしたので、少し外国にいるという実感がわきました。オーストラリアの人はフレンドリーな人が多いのかなと思いました。そこからは、オーストラリアの街を見て、植物園に行きました。とっても大きい木があったり、日本では見ることのできない鳥に会ったりできて良かったです。そのあとは学校に行きました。学校につくと他の留学生がたくさんいました。学校には「イングリッシュオンリーゾーン」と書いてあり、授業の時には日本語を使つてはいけないという決まりがあり、大変そうだなと思いました。この日は、勉強せず、ホストファミリーが迎えに来るのをみんなで待つていました。マザーが迎えに来てくれました。夕食はうどんでした。とてもおいしくて、おかわりをしました。料理が上手なママで良かったと思います。日本のお土産を渡すと、とても喜んでくれて嬉しかったです。

学校での勉強が始まりました。学校の送り迎えはホストマザーがしてくれました。先生はマリアンヌさんでした。英文を読むことやプリントでの学習をしました。休み時間にはみんなとそれぞれのファミリーについて話をして盛り上がりました。

オーストラリア三日目は、土曜日で学校は休みでした。私たちは、動物園とグリーン島に行きました。動物園では、蛇を首に巻いたり、ワニをもったり、コアラを抱っこしました。コアラと記念写真を撮ることもできて良かったです。ボートに乗っ





てワニに餌をあげるところも近くで見られてすごかったです。すべて初めてのことでしたのでとても印象に残っています。

グリーン島へは、フェリーに乗って向かいました。すでにテンションが上がっていてフェリーの端で風を受けたり、水しぶきを受けたりとても楽しかったです。グリーン島に着くとすぐ海に入りました。海の水は冷たくてしょっぱかったです。浅い所には貝殻があつてきれいでした。帰るときに、カメを見ることができてすごく嬉しかったです。また、

行きたいです。

四日目は、ホストマザーと外出しました。まずは、山の上まで行きケアンズの景色を見ました。それから、ホストマザーの両親の家に行きました。クツカバラと呼ばれているワライカワセミが家に来て、おじいやんがエサをあげるところを見せてくれました。はじめて見る野鳥で、鳴き声は名前のおり本当に笑っているように聞こえました。すごかったです。ランチは、ハンブリーグヤックというお店でハンバーガーを食べました。最後にショッピングセンターに行きました。そこで、ホストマザーとはぐれてしまい不安になりましたが、会えたので良かったです。

五日目は、ブーメランを作りました。伝統的な絵アボリジニアートをモチーフにしたブーメランが完成しました。自分達で絵を書いて楽しかったです。この日は、ホストファミリーが変わりました。とてもやさしい家族でした。家が大きくて、ひとり一部屋用意してくれました。べ



ットはとっても大きくて三人で寝ることが出来ました。お手伝いも少なくシャワールームはホストファミリーと別にあり、わりと自由に使うことが出来ました。

六日目は学校で勉強した後、ショッピングセンターに行きました。マリアンヌ先生達がケアンズで一番大きいショッピングセンターを案内してくれて、英語で買い物することが出来ました。

最終日は、フリータイムでした。

この日はコウモリをたくさん見ました。ショッピングのあと飲食店でホストファミリーとケアンズ最後の夕食です。私がお世話になったホストファミリーは、都合が悪くて来られませんでしたが、他のファミリーと一緒に食事をしました。楽しいひとときでした。

この研修で私は、言語、生活の違いを体験することが出来たので、この研修に参加するために英語を勉強して参加することができて良かったです。これからも英語を勉強して将来この経験を活かしたいと思いました。

最後に違う国の私たちを受け入れて考えてくださったホストファミリーに感謝しています。





私は、中学一年生の時、国際留学プログラムに参加した先輩方の体験談を聞いた時から海外留学に興味をもち初めて、今回オーストラリア留学に参加できることになりました。とても嬉しかったです。

事前の準備では、パスポート作成や英会話レッスンを受けましたが入国審査については持ち込みなどに色々な規制や制限があり、薬の箱に英語で説明できるよう書いて貼ったりと色々大変でした。

当日を迎えて出発後、新千歳空港に向かいました。少し緊張しましたが楽しみのの方が大きかったです。成田空港からケアンズ国際空港まで7時間飛行機に乗り四時半頃に到着しました。日本との時差は一時



国際留学プログラムに参加して

南幌中学校

3年A組 渡辺 真歩



間程で飛行機では眠れたので疲れはありませんでした。ケアンズの八月の季節は冬と聞いていましたが、日本の夏と同じくらいの気温で半袖でちょうど良かったです。飛行機の中は冷房がきいていて、上着一枚をリュックに入れておいて良かったです。

まず最初に日の出を見にビーチに行きましたが、朝日がとてもきれいで沢山記念撮影をしました。次に世界遺産で知られているキュランダ観光に行き、スカイレールに乗りながら景色を眺めました。自然が広がっており見たことのない植物や現地の木は高いことに日本との気候の違いも感じました。

その後、語学学校でオリエンテーション後にホストファミリー宅に向かいましたが、今回は三名で同じ家に滞在する予定で心強かったです。私のホストファミリーはフィリピンの方で、挨拶後は部屋の中を案内してくれました。オーストラリアの家は一階建てが多く敷地が広くて、リビングもキッチンもとても

広がりました。

夕食は日本食のうどんを用意してくれて美味しかったです。家の決まりなどの説明では、ベッドルームでは飲食禁止、洗濯は週に一回と話がありました。わからない言葉もあり、すぐに聞き返すことが出来ず、単語の意味を調べたりして、もう少し積極的にコミュニケーションを取らなければなと思いました。

二日目は、語学学校でマリアンヌ先生の授業が始まり常に笑顔で英会話もとても聞きやすく、楽しい雰





困気で授業を受ける事が出来ました。オーストラリア紙幣について学びましたが、紙幣はプラスチックでできているので丈夫なもので、コインは六種類覚えて計算などをしていきました。これで買い物は完璧です。またブレックファーストという休憩時間がありお菓子や飲み物などを飲んだりする時間もありました。

三日目は土曜日でハートリーズアドベンチャーという動物園に

観光に行きました。日本では本やテレビなどではしか見たことのない、コアラやクロコダイルを見て感動しました。ヘビを首に巻いたりクロコダイルの赤ちゃんを手につたりして怖かったですが、いい経験ができたと思います。

次に一番思い出に残っているグリーンアイランド移動するのに初めて船に乗りました。デッキに行くと凄い風で日差しがとても強く、用意していたサングラスをかけました。でもなんととっても船の上から見える景色と青い海の美しさを、どう表現していいのかわからない程感動しました。シュノーケリングも体験したのですが、口で息をしなくてはいけない事に苦戦しながら小さい魚を見たりし、帰り際ウミガメが現れてとてもラッキーでした。

次の日はホストファミリーとの休日なので車でケアンズの町を一望できる展望台に行ったり、お土産の買い物でしたが、物価が高いので計算をしながら購入できるものを選びました。その後にホストフ



ファミリーの実家に遊びに行きました。グランドファザーが庭の手入れをしてマンゴーや色々な木があつたけれどその中からレモンと赤い謎の実をもらい、食べるとレモンがとっても甘くなりびつくりしました。昼食はハンブリージャックという店で外食しハンバーガーセットを注文しましたが、ソースやジュースなどがすべて甘くさすが海外だなと思いました。

次の日は学校で、アボリジニアートに挑戦しました。細かい作業で少し苦戦しましたが楽しかったです。そこから急遽ホストファミリーが変わる事になり、家に帰るとプレゼントをくれて「あなたの事大好きよ」と言われた時は少し申し訳ない気持ちになりましたが、次のホストフ

ファミリーへの期待が大きく、楽しみでした。

次の家のホストマザーとファザーはとっても優しく私達の事をよく考えてくれる親切な方でした。本当に感謝しかありません。

最終日のお別れパーティーは山本さんのホストファミリーの方々と話をしたり楽しい時を過ごせる事が出来ました。

この約八日間のケアンズでの生活は一生忘れません。貴重な学びや体験をこれからの生活や勉強に生かしていきたいと思っています。国際留学プログラムに関わった関係者の皆さまありがとうございました。





今回、中学生国際留学プログラムに参加させていただき、初めての海外、初めてのオーストラリア、また初めての十日間親元を離れてのホームステイという経験をしました。また、今回一年生での参加が自分一人であり、三年生の先輩たちとの参加となりました。初めは色々な意味で不安もありましたが、参加が決



まってしまう。出発当日、ぼろろで教育委員会の方々や父母の皆様に見送られ、楽しんでからの英会話の勉強等で顔を合わせ、少しずつその不安は解消されました。準備期間はあっという間に過ぎ、いつも準備が遅い自分は荷物や必要な物の用意を終えたのは出発前日であったことを思い出します。

考える人になる

南幌中学校

1年A組 佐々木 柊也



みと不安がたくさんの中ケアンズへと向かいました。到着したのは午前四時、そのままバスで移動しケアンズでの留学プログラムがスタートしました。

お世話になったホストファミリーのご紹介をします。全部で七人が暮らす家で、その他に近所に暮らす家族も含めると十一人の大家族の中で過ごしました。主には介護施設の食堂で働くマザーと、自営業のフアザー、その息子さんとカレンさんというコカ・コーラ好きの女性でした。みんな本当に親切な方々で、外国からのホームステイを何度も受け入れたことのある家庭でした。過去にも日本人を受け入れたことがあるらしく、たくさん話しかけてくれ安心しました。



しかし、自分の英語に自信がないせいで、なかなか自分から話しかけることができずせっかくの機会でしたが反省が残りました。ホストファミリーは毎日家族で映画を観る習慣があり、一緒に見ていましたがもちろん字幕なし、英語で書かれた映画で最初は戸惑いでしたが少しずつ慣れていき、最終日には少し映画を楽しむことができました。

学校の勉強では先生の話す英語





を聞き取ることに苦勞し、質問に対してもすぐに理解し返事をするこ
とが出来ないことが多くありまし
た。それでも後半には少しずつ理解
が早くなり、過ごしていく中で英語
に慣れることができたと感じまし
た。

授業の中でオーストラリアの先
住民族、アボリジニについても学ぶ
ことができました。彼らはカンガル
ー狩りの時にブーメランを使用し、
そのブーメランにはシンボルを描
くという文化があったようでそう
いった文化を学んだうえでブーメ
ラン作り体験をしました。

こうした学校での体験のほか、現

地の動物園や世界遺産のグレート
バリアリーフ、スーパーにも行くこ
とができました。

近くには日本人向けの土産屋さ
んがあり、日本人が働いていること
と日本円が使用できるといったと
ころでした。

自分は、この留学プログラムの中
で文化の違いについても学びたい
と思っていました。食の文化ではや
はり米ではなくパン、夕食にクレ
プといった違いもありました。また、
道路沿いにヤシの木があったり、住
宅は床を地面と接合させないよう
な作りが多く、理由としては熱帯地
域のため空気の通り道を作り風通
しをよくするためのものだと知り
ました。そして、小さなことかし
れませんが、ドアのマナーにも驚き
ました。オーストラリアではドアを
一番最初に開けた人が次来る人を
全員通すことが当たり前のようで、
日本では親切なことが常識となっ
ていました。

今回、国際留学プログラムに参加
した理由としては、自分の英語力の



向上、文化の違いを学び、将来の夢
「リハビリの仕事」に活かしたいと
思ったからです。

オーストラリアで過ごした期間
で、文化の違いはとても強く感じま
した。英語については、英検三級を
取得していても、まだまだ勉強不足
で、自信がないことがコミュニケー
ションを積極的に取れないことに
つながりました。また、英語力だけ
でなく、社会勉強も足りないと感じ
ました。他人の話をしっかり聞く、
相手を思いやる当たり前の気持ち
はどの国に行っても絶対に必要で、

これから英語と共に社会勉強もし
ていかなければならないと感じま
した。

今回、三年生の先輩にたくさん助
けてもらい、また引率の浅野先生、
JTBの伊藤さん、教育委員会の方
々、学校の友達、そして家族、自
分に関わってくれた人たちにとて
も感謝しています。

これからは、考えること、感謝す
ること、そして英検準二級の合格を
目標に頑張りたいです。





本年度、中学生国際留学プログラム事業の実施にあたり、派遣先がカナダ・バンクーバーからオーストラリア・ケアンズへと変更となったことから、現地での研修内容、ホームステイ先、周辺環境などを確認するため、派遣生徒に随行いたしました。また、派遣期間が、生徒の身体的負担や中体連全道大会日程との重複に配慮して、十四日間から十日間と



オーストラリア短期留学 引率レポート

生涯学習課長 浅野 茂

四日間短縮となったこともあり、全日程の随行となりました。
今回派遣となった生徒は、中学三年生六人、一年生一人の七人で、性別では、男子が二人、女子が五人でした。生徒の中では、海外旅行経験のあるのは、一人であとは初めての海外経験です。
私自身も、オーストラリアへの渡航は初めての経験で、他の海外旅行

の経験も乏しいことから、半ば、生徒と同様に緊張感のある中での随伴となりました。

最初に語学研修については、今までの大学での研修と異なり、語学研修センター「ケアンズ・ランゲージ・センター」での研修となりました。ケアンズ・ランゲージ・センターは、ケアンズで最も古く、歴史のあるセンターで、研修期間中は、南幌町をはじめ、愛媛、大阪、海外は中国から七つの団体、約八十名の留学生を受入れていました。施設そのものは、さほど大きな施設ではありませんでしたが、パソコンやWi-Fi環境、空調設備などが整っており、快適な環境の中で研修できました。センターへの受入れもスタディーツアーマネージャーが中心となり、施設利用の対応やホストファミリーとの対外的な交渉も行っており、大変スムーズな受入れをしていただきました。



施設内の殆どは、「English Only Zone」となっており、

必然的に英語を話さなければならぬ環境も整えられていました。

南幌町を担当していたいたいた講師は、イタリア出身の女性のマリアンヌ先生で、国風が要因しているのか、とても陽気な性格で、生徒たちは、スムーズに授業に溶け込めた様子でした。

マリアンヌ先生の授業は、テキストを使って、英文を読み、それに応えていくというスタイルの授業ですが、分らないところや聞いたところは、何度も繰り返し、学習するタイプで、とても分かりやすい授業であるとのことでした。

授業内容は、午前は、オーストラリアの流通通貨や都市や州、首都の名前や場所、日記の作文といったテキストを使用した座学が中心で、午後は、アポリジニ（先住民）の道具であるブーメランの製作、マーケットでの実習、歌と踊りを取入れた学習などアクティビティなものが多く、メリハリをつけた授業で生徒た





ちも楽しみながら英語を学ぶことができたように思います。

生活体験については、今回受入れをしていただいたホストファミリーは三組で、国籍もオーストラリアに加え、台湾、フィリピンと多種でした。男子は二人、女子は二人と三人に分かれ、それぞれの家庭にお世話になりました。ホストファミリーのお宅は、センターから、それぞれ車で五分から十五分の範囲にあり、私と添乗員とで、頂いた住所の書いた紙を頼りに、タクシーで一軒一軒の家庭を訪問しました。ホームステイの受入れる家庭は、裕福なのか？どの家庭も家が大きく、中には、

プール付の家庭もあり、大変驚きました。受入れも、大変慣れているようで、生徒たちは、ホストファミリーとの休日には、ドライブに行ったり、近くのマーケットに買い物に行ったり、バーベキューをしたりと交流を楽しんだ様子です。ただ一点、女子三人グループとホストファミリーとのお互いのコミュニケーションが、上手く取れなく、ホストファミリーを変更せざるを得ない状況となってしまうことは、大変残念であり、今後、実施する上での課題となりました。

ケアンズの町は、オーストラリアの中では、「田舎町」とされていますが、人口は約十六万人で、ヨーク岬半島の付け根付近に広がる珊瑚海に面する港湾都市です。グレート・バリア・リーフ（世界最大のサンゴ礁地帯）やキュランダ（世界中で最も古い熱帯雨林）といった世界遺産に登録されている場所が二つあるほか、熱帯雨林特有の植物、野生のワラビーや野鳥などが生息する非常に自然豊かな土地であります。

す。市内には、ポタニック植物園やヘビやカンガル、コアラの居るハートリーズ動物園、クロコダイル（ワニ）アドベンチャー、エスプラネードビーチなど観光施設も多く、南幌町や北海道とは違った自然環境の中で研修や生活体験をすることができました。

気候も八月は、初冬ということですが、日中は二十六、二十七度まで気温が上がり、半袖でも過ごすことのできる温暖な時期でした。

治安も小さな町であるゆえに犯罪の発生率も低いということで、比較的住みやすい町であるともされています。

市街には、大きなマーケットやほぼ世界中の食べ物揃っているフードコートなどもあり、快適な環境の中で八日間を過ごすことができました。

生徒の中には、乗り物酔いや慣れない生活で体調を崩した生徒も数名居りましたが、語学研修で英会話力を身に付け、ホームステイを通じて外国での生活を体験し、観光地で



は、異文化や自然の豊かさを感じることができたと思います。

今回の国際留学プログラムを通じて、楽しいことや辛いことも沢山経験したと思いますが、そういった経験の全てを含めての国際留学プログラム事業だと思います。今後、国際社会に対応できる社会人を目指して、選考面接の際に話してくれたそれぞれの目標に向けて、今回の参加を契機として、社会に羽ばたいていくことを期待し、研修レポートといたします。



8/7 出発式・出国・機内泊



8/8 オーストラリア到着・キララダ・ラッパ・センター



8/9 英語レッスン





8/10 ハービー・パンサーズ・グリーン島



8/12・13 フォーリアニート・ショップ・センター研修





8/14 修了証書・さよならパーティー



8/15 ケンズ`空港・鼎国・成田泊



8/16 成田ビューホテル・南幌町へ



Thank you Australia

なんと！
 なんぽろ
 見るなら！
 食べるなら！
 暮らすなら！
 なんとっても！
南幌町



育てる喜び、育む幸せ。

南幌町
 TOWN NANPORO

令和元年 10 月発行

編集・発行 南幌町教育委員会 TEL 011-378-6620

〒069-0237 北海道空知郡南幌町栄町 3 丁目 3 番 1 号

中学生国際留学プログラム事業には南幌町を応援されている皆さんの寄附金が活用されています。